

出羽商工会景況調査報告

[調査要領]

調査対象 : 出羽商工会地域の企業 100社 (製造業 24、建設業 24、小売業 25、サービス業 27)

調査時点 : 令和元年6月、9月

調査方法 : 企業へ調査表記入依頼及びヒアリング

※D. Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、以下により算出している

D. I. = 【各項目の増加 (上昇・好転) 企業割合 (%)】 - 【各項目の減少 (低下・悪化) 企業割合 (%)】

【全体】

- ・全体の7-9月について、DIは悪化しており日本海山形県沖地震の影響がみられる。
- ・製造業、建設業については、繁忙期のため回復傾向がみられる。サービス業については7-9月に悪化しているものの、DIはプラスで推移している。小売業については大幅なDIの悪化となっている。

【製造業】

- ・全体的に原材料仕入単価の高騰がみられ、採算が悪化している。一部の業種で加工賃単価の上昇、売上単価の上昇がみられる。
- ・中国とアメリカの影響で受注量減少がみられる。

【建設業】

- ・増税前の駆け込み需要の影響から回復傾向にある。材料仕入単価の高騰は続いているものの、受注額の増加により回復している。
- ・地震の影響で修理などの需要が急増。また、増税前の駆け込み需要によりリフォーム工事が増加している。

【サービス業】

- ・地震の影響から7-9月は悪化がみられる。復興支援を要因とした売上が増加しはじめているとの声もある。
- ・多くの業種で資金繰りの悪化がみられる。

【小売業】

- ・春先からの猛暑による影響から、飲料や冷菓の売上増加が伸びているが、依然として厳しい状況にある。
- ・春先の作業に合わせて、機械購入をされる消費者が多く、4-6月に売上が増加した。

6月調査 前期 (1月 - 3月) と比べて今期 (4月 - 6月) の業況は						9月調査 前期 (4月 - 6月) と比べて今期 (7月 - 9月) の業況は					
区分	製造業	建設業	小売業	サービス	全体	区分	製造業	建設業	小売業	サービス	全体
好転A	9.1	13.6	18.2	29.6	18.1	好転A	16.7	18.2	0	21.7	11.2
不変B	59.1	59.1	54.5	59.3	57.4	不変B	62.5	63.6	55.0	65.2	59.6
悪化C	31.8	27.3	27.3	11.1	24.5	悪化C	20.8	18.2	45.0	13.0	29.2
DI (A-C)	-22.7	-13.7	-9.1	18.5	-6.4	DI (A-C)	-4.1	0.0	-45.0	8.7	-18.0

景況判断「DI」全業種及び業種ごとの推移

